

令和3年度菊陽町農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本町では、主食用米の作付面積が年々減少しており、令和2年度は作付目安143haに対して作付面積120haと配分面積を下回っている。今後もこの傾向が継続すると想定されるため、水田機能維持と転換作物への支援を行っていく必要がある。

農業形態では水田作物を中心に露地野菜の作付が盛んで、特に人参は国の野菜指定産地に指定されており、町の特産品として位置づけられている。また、本町では人口の増加が著しく、都市部の消費地に近いことから、農産物直売所やインショップ向けの様々な農産物も生産されており、特色ある産地作りを目指している。

また、近年は人参耕作者を中心に担い手への農地の集積が進む一方で、管理が困難な農地や、労働力不足が懸念されており、それらの農地や作業を補完する組織の育成、充実に推進し、持続性の高い農業を構築する必要がある。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

(1) 適地適作の推進

当地域では水はけのよい土壌を生かして高収益作物である人参の生産が盛んであり、今後も地域の特産物として重点品目に位置付け、作付の推進を図る。

(2) 収益性・付加価値向上への取組

地域の特産物である人参を中心に市場ニーズに合わせた品種別生産出荷計画の推進、エコファーマーや原料向けの取組によりブランド価値の向上を図る。

(3) 新たな市場・需要の開拓

当地域では露地野菜の栽培が盛んであり、それらの青果物が広く県外へも出荷されている。しかしながら、消費地での知名度向上の余地は大きいと考えられ、地域の農業団体と連携し、展示販売会並びに広報活動等により新たな需要の拡大を図る。

(4) 生産流通コストの低減

地域の集出荷施設を活用し、販売ロット拡大による有利販売やコスト低減を図る。また、「強い農業・担い手づくり総合支援交付金」等を活用して生産基盤強化を進めていく。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

(1) 人・農地プランが策定されている地域については、プランの地域営農組織や認定農業者名など地域の担い手への農地集積を進めていく。また、施設園芸等のほ場を中心に、今後も水稻作に活用される見込みがない水田について点検を行い、畑地化の取組の重点支援期間であることを周知し、地域の実情に応じて水田の畑地化を図る。

4 作物ごとの取組方針等

持続性の高い農業の実現のため、生産基盤の整備を進めるとともに、町内の水田においては、産地交付金を活用しながら、人参を転作作物の中心として位置付け、農業者の所得増加、農作物の作付維持・拡大を図り、特色ある産地づくりを推進する。

(1) 主食用米

令和2年度は作付目安を作付面積が大きく下回っている現状であり、需要に応じた生産を図るため、今後とも経営所得安定対策等の取組状況を注視しながら、作付の維持・拡大を図る必要がある。

(2) 非主食用米

産地交付金を活用し、担い手による作付拡大や多収品種の取組を支援し、需要に応じた作付の推進を図る。また、耕畜連携による水田の有効活用やわら利用の取組を推進する。

ア 飼料用米

産地交付金を活用し、担い手による作付拡大や多収品種の取組を支援し、需要に応じた作付の推進を図る。また、耕畜連携による水田の有効活用やわら利用の取組を推進する。

イ WCS用稲

管内に占める作付割合が高いことから、地域内の需給バランスを注視していく必要がある。また新規需要米の適正流通の観点から専用品種を推奨する。

(3) 麦、大豆、飼料作物

麦については、大麦「はるしづく」を中心に作付けを推進し、冬季に作付けのない圃場や期間借地への作付け推進により水田利用率の向上を目指す。

大豆については、圃場のローテーションを行い、連作障害の軽減による収量増加を推進する。また、産地交付金を活用し団地化の取組を支援することで、作付面積の維持・拡大を目指す。

麦、大豆いずれについても、地域の担い手への農地集積を促進し、生産性向上を図ると共に共同乾燥調製施設や農業機械の有効活用による、低コスト生産の取組への支援を行い、水田利用率の向上を目指す。

飼料作物については国産飼料の供給維持に取組み、水田利用率の向上に資する取組への支援を行っていく。

(4) 高収益作物

産地交付金による園芸作物（野菜等）への支援を行いながら、特に町の特産物であり、国の野菜指定産地の指定を受けている「人参」を振興品目として支援を行い、作付拡大を図る。

5 作物ごとの作付予定面積等

作物	前年度 作付面積 (ha)	当年度の 作付予定面積 (ha)	令和4年度の 作付目標面積 (ha)	令和5年度の 作付目標面積 (ha)
主食用米	120ha、604.8t	130ha、707.2t	120ha、652.8t	120ha、652.8t
飼料用米	4	5	7	10
WCS用稲	194	195	195	195
麦	109	110	110	110
大豆	77	78	78	78
飼料作物	66	65	65	65
高収益作物	219	220	220	220
・野菜	209	210	210	210
・花き・花木	2	2	2	2
・果樹	1	1	1	1
・その他の高収益 作物	7	7	7	7
畑地化	0	0	0	1

※ 主食用米の当年度、令和4年度、令和5年度の目標値において使用した単収は 544kg/10a

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	目標値	
				前年度（実績） 令和2年度	令和5年度
1	人参	重点品目作付助成 （基幹）	人参交付対象面積	180.8ha	183ha
2	大豆	団地化加算 （基幹・二毛作）	大豆団地化面積	41.2ha	42ha
			10a 当り収量	164.2 kg	170 kg
3	麦、 大豆、 飼料作物	二毛作助成 （二毛作）	二毛作面積	麦 38.1a	麦 40ha
				大豆 60.7ha	大豆 61ha
				飼料作物 48.3ha	飼料作物 49ha
			水田利用率の向上	109.4%	111%
4	飼料用米	多収品種加算	多収品種作付面積	4.6ha	10ha
			10a 当り収量	513.2 kg	530 kg
5	麦、 大豆、 飼料用米	担い手生産性向上加 算	対象面積	麦 70.9ha	麦 71ha
				大豆 14.8ha	大豆 15ha
				飼料用米 4.0ha	飼料用米 9ha
			10a 当り収量	麦 416.7 kg	麦 417 kg
				大豆 162.6 kg	大豆 170 kg
				飼料用米 513.2 kg	飼料用米 530 kg
6	飼料用米	耕畜連携への助成 （わら利用の取組） （基幹）	取組面積	4.6ha	10ha
			取組割合	100%	100%
7	人参を除く野菜、 花き・花木、果 樹、その他作物	地域振興作物助成 （基幹）	地域振興作物交付 対象面積	38.3ha	39ha